

保水・作業性改良混和剤

# NP混和剤01「ゼロイチ」

塗りやすく、作業効率が向上。

保水性が向上し、ドライアウトを抑制。

ピンホールが出にくく、綺麗な仕上がり。

## NP混和剤01(ゼロイチ)の使用方法

### 空合わせ法

補修材にNP混和剤01(ゼロイチ)を下記の数量を参考にして投入し、よく空合わせした後、必要量の水を加えて混練りしてください。

### 水溶解法

必要量の水にNP混和剤01(ゼロイチ)を下記の数量を参考にして投入し、よく攪拌した後、補修材に加えて混練りしてください。

### 投入量の目安

25kg入り補修材の1/3の量を一回に練る場合

付属の計量スプーンで1杯



## 標準仕様

| 製品名           | 標準使用量                      | 内容量   | 使用可能数量      |
|---------------|----------------------------|-------|-------------|
| NP混和剤01(ゼロイチ) | 補修材1袋(25kg)に対して混入量100~200g | 5kg/缶 | 補修材25~50袋/缶 |

Best Walls, Best Life しっくいと共に

日本プラスター株式会社

# 作業効率と保水性UPでキレイな仕上がり。

## NP混和剤01(ゼロイチ)の性能

| 硬化物性                                     |      | NPウスヌリL20<br>添加無し | NPウスヌリL20(1袋)に対して<br>NP混和剤01(ゼロイチ)200g混入 |
|--|------|-------------------|--|
| 曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )                 |      | 5.1               | 5.1                                      |
| 圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )                 |      | 16.3              | 15.8                                     |
| 付着強さ<br>(N/mm <sup>2</sup> )             | 標準養生 | 1.7               | 1.6                                      |
|  | 低温養生 | 1.0               | 1.2                                      |
| 仕上げ材が複層塗材の<br>場合の耐久性(N/mm <sup>2</sup> ) |      | 1.5               | 1.4                                      |
| 長さ変化(%)                                  |      | 0.13              | 0.14                                     |

※記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません

JIS A 6916 建築用下地調整塗材 試験方法による

※NPウスヌリL20はC-2規格適合品ですが、  
表中データはCM-2の品質基準による試験結果を記載

### 〈使用上の注意〉

- 混練り後の補修材へのNP混和剤01(ゼロイチ)の投入はママコの原因となりますので、避けてください。
- NP混和剤01(ゼロイチ)の過剰投入は混水量が増大する為、補修材の強度低下を招くことがあります。  
必ず標準使用量を上限としてご使用ください。特に冬場の使い過ぎは白華の発生を助長する可能性があります。
- NP混和剤01(ゼロイチ)が余った場合は、容器の蓋をしっかりと閉めて保管して下さい。
- 取り扱い時は必ず保護具(保護手袋・保護眼鏡・マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所で行ってください。
- 取り扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
- 取り扱い後の器具類は早めに洗浄してください。
- 目的以外の用途には使用しないで下さい。

### 〈応急処置〉

- 目に入った場合…直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合…直ちに水でよく洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合…大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

### 〈運送上の注意〉

- 缶の損傷による内容物の漏れがないことを確認してください。
- 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

### 〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

### 〈漏出時の注意〉

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。  
排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。